



し お か ぜ

令和2年6月17日発行 松岡弘悟

学校再開 ～分散登校から～

大田区では、緊急事態宣言の解除を前に、6月1日から学校を再開することを決定しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年3月から続いていた臨時休業期間が終わり、学校に生徒の声がもどりました。

本校では、給食の時間を揃え、午前グループも午後グループも教室は別ですが、先生方が配膳し、一斉に給食を食べています。

学校は、新しい生活様式が求められ、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続していかなければなりません。残念ながら、大田区からの要請等により、行事が中止となったり、今後実施方法などを検討していかなければならない行事があります。様々な制約の中で授業等に取り組まなくてはなりません。通常の登校に戻った際には子供たちの日常の諸活動が豊かな学びにつながるよう、準備を進めています。

生徒諸君には、「三密」にならないよう考えて、行動してもらいたいと思っています。

新しい学校の日常を考えつつ、これまでの大森第一中学校の伝統を大切に、教育活動を展開していきます。

着任した先生から

一学年の副担任、国語科を担当させていただきます。赴任して約2ヶ月、子どもたちと過ごせる時間が増えることを、とても待ち遠しく思っておりました。このような状況の中ではございますが、子どもたちにとって実りある中学校生活となるよう、尽力したいと思っております。大森一中の生徒たちのよさを伸ばしていけるよう頑張ります。一年間どうぞよろしくお願いたします。 後田 沙紀

入学式 ～2ヶ月遅れの実施～

6月8日には延期となっていた入学式を実施しました。式辞の中で、「学び」について話しました。以下に抜粋します。

皆さんは、この大森第一中学校で過ごす3年間で多くのことを学んでいきます。

「学び」というのは、教科の授業だけではありません。宿泊行事や音楽祭など様々な行事を通して身に付ける「学び」、あるいは部活動・休み時間や給食の時間・放課後の活動にも「学び」があります。

皆さんには、様々な「学び」を毎日の学校生活の中で意識して、今日は何を学んだのかを振り返り、日々、何かを学んでいることに気付いてほしいと願っています。中学校3年間を通して、常に「学び」を意識し、何事にも努力を惜しまず、自分を高めようとする意欲をもち続けていくことを期待しています。

「学び」は、先生や友だちとの関わりだけでなく、図書館にあるいは、広いグラウンドの中に隠れているかもしれません。

学校の中には、沢山の学ぶ場所・機会が広がっています。自分で考え、試行錯誤しながら行動し、友だちとも競い合いながら互いを高め、充実した中学校生活を送りましょう。

ただし、困ったとき、張り切りすぎて疲れたとき、考えがまとまらずに悩んでいるときには、遠慮することなく先生をはじめとする大人に相談してください。また、学級や学年の仲間、先輩という強い味方が、皆さん一人ひとりを支え応援しています。苦しいときには、声を出して助けを求めましょう。

大森一中の生徒諸君、何を学んだのかをしっかりと意識して学校生活を送りましょう。

校長先生からの課題に取り組んだ人は、校長室に報告に来てください。